夕刊
磐城新聞
九月二十二日發行
定價一ヶ月 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行所 磐城新聞 合資會社
〔日曜祭日翌日休刊〕

歌謠小說 母

八

伊納川銀

『ほんとに？』

『まあ！嫌！嫌！知らないつ！』

『憤つちやいやだぜ、そんな意味ぢやないんだ。君に本當の自分の氣持が判るかどうか僕にや疑はしかつたから……』

『まあ！自分の氣持くらい！』

『君はまだ／＼若い。だから君自身君の本當の心が判らないんだ、だから君が考へる幸福とか不幸とかそれが決して逆にならないとは言ひきれないからねえ！』

『逆つて？』

『君は猿品君が死んでも嫌だと言ふ。それあ匕刀を持つて脅迫したり、氣狂ひの樣にわめいたりするなんて事が、未だ若い君にとつてどんなに醜く、恐ろしくうつるか判らないだらう。だがそれだけが君の心ぢやないかも知れないよ。たとひそれが現在の僞はらぬ君の感情の總てであつても、一切を批判し選擇し統制し反省する君の心の全部ではない筈だ！』

『……』

『では一体どうしたらいいつて言ふの？』

『その前に君は猿品君をどう思つてるか聞きたいね』

『きらひ！あんなひと』

『もし猿品君のそんな狂態が、君を愛する餘りだと考へたら、又違つた結果も生れてくるよ』

『……』

『君は今、兎に角も幸福らしいものを僕から感じてゐる。何の疑ひもなく、ひたむきに縋りついて來てくれる素直な君の心は泣ける程僕にとつては嬉しい、だが僕は君の素直さに快くとけこむ程もう素直ではなくなつてゐるのだ』

『えつ！』

蒼白に、ひろ子の眉はあがつた

『と言ふのは決して君が嫌になつたなんて言ふ意味ぢやなく、僕を二十年間裏切り續けて來た世の總ての人の爲に培れて來た孤獨性の爲なのだ。父の愛と母の愛とに充たされなかつた僕の變態的な、無理な、愛されたいつて氣持が、いつもどこかで無慘に踏みにぢられて來た爲の、もう救ふ事の出來ない魂の放浪、ニヒル、そんなものがいつも僕を出鱈目にし味氣なく歪めてゐるのだ』

『……』

『だから、今度だつて僕は果して最後まで君の幸福を護り得るかどうか、自分でさいはつきり判らないんだ愛してゐる。本當に火の樣に好きだ。だのに僕にはどこまでもとびこんで行く意力がまるで湧いてこないんだ』

『……』

磐新歌壇

小山田滋選

『朝晴』（二）　多霞夫

○此の軒に巣をはりいそぐくも一つ見えて靜けき夕べなりけり
○穗にいでてすゝきなびかふ岡の邊を草かる女通りゆきけり
○赤蜻蛉飛び交ふて翔る羽音のひそかなりけり空の夕映
○母の引く繭を積みたる荷車に子もつきゆけり砂ぼこり道
○降る雨もそゞろ冷たし一つなくすゝきの中の蟲のこほろぎ

潮聲硯靜抄帳

岡部二葉特選

提灯をあげて螢呼ぶ子を呼びにけり	枯萍
叢に流るゝ風の螢かな	松堂
闇深く螢を呼んでゐる子かな	眞砂常
對岸の草に沈みし螢かな	武門
天井の闇にひかれる螢かな	同
螢籠闇をゆられて戻りけり	芳月
大雨の桝にとび來し螢かな	雪水
おとされし螢火明き早瀬かな	晩霞
螢よぶ聲わたりくる水田かな	秀勝
螢よぶ聲すや闇の田を越えて	長貴

○

十藥のほろ／＼白し夕螢　二葉

平地方の方言

盛岡　高木稻水

十四

ゆもみてのごえ　風呂場で用ゐる手拭、湯揉み手拭か

ゆきあげる　長湯をして輕い腦貧血を起す事湯氣おげるの意か

よごし　あへもの（韲物）ごまよごしといへば野菜類をゆでてそれに胡麻をからんだものをいふ、汚しの意であらう

よごつぽり　夜ふかし、よひつぱりと同系統の語であらう

よわり　夜業、夜張りの意か

よでつこ　末子、餘計つこの意ならん。よでむすこなどともいへばよどえどもいふ

よわつかし　弱虫の人

ら行の部

らんと　墓場、卵塔から來た語

わ行の部

わつか　輪

わかさま　梓巫女、弓を持つた巫女が死者の靈を呼び出して冥界の事などを告げる、何故わかさまといふのかわからぬ、死者の靈を呼び出す事をわかをよせるといふ

わらぼつち　農家の附近に藁を圓錐形に二丈位の高さに積みあげたもの藁法師の意か一人法師がひとりぼつちとなる、わらぼつちを單にぼつちともいふ

わらし　子供　（完）

（補遺）

あすだち　朝

ねせつこ　養子を入れてから養父母に出來た兒

かしきば　炊事場

かしぼん　神棚に飯などを具へる時用ゐる少さな木の盃

かつば　とげ、『かつぼふむ』といへば足などにとげをさすことである

がんぎあだま　素人が子供の髮を刈つて段々のついてゐるのをいふ

女中

前田勝江

妾しや女中よ
名もない女
燃ゆるパッション小さき胸に
かけたたすきもきりりツと
樂しく愉快に日を送る

……

妾しや女中よ
名もない女
大きな希望を小鳩の胸に
秘めて働らく妾の身にも
いつか微笑む春の女神

……

妾しや女中よ
名もない女
時よ時節と女中はすれど
末は大臣令夫人。

拈華微笑

◇增に還元。之が正常とは何と朗かな頃日の常磐炭況

◇磐炭の浴場封鎖に村民側湯氣を立てて對策協議

◇亡舊友を弔ふ第二五訓導の給供發、いみじくも涙ぐましい試み

◇荒つぽい自給自足。姿岡に前借詐欺

◇天高く氣澄む。善哉。二日連續の休み

○……○

社會の今日

9月23日

△賴山陽歿す（天保三）△獨人海王星を發見す（一、八四六）△私に銃砲彈藥賣買を禁ず（明治五）△ランカシヤの綿業大爭議勞資協定成立す（同六）

○

星飛んで森に消えけり沼の秋　大二郎

○

ふと仰ぐ星の光の位置のよさ明日も天氣で働かうと思ふ　清水信

講談

幕末神風組

(01)　土生太郎作　高根秀浩畫

暗謀（十）

恰度その頃である

御木本九平太の家には、頑強さうな侍たちが十數人御大御木本を車座の中心にして矢張り何事か密談してゐた

御木本の言葉尻には矢鱈に淺野、淺野といふ聲が混つてゐた

言ふまでもなく昨夜八丁堀で討ち損つたばかりか辛い目に會はされて、おまけに同志三人も斬られて而もドン／＼逃げて歸らなければならなかつた事に就て何事かを語らつてゐるに相違なかつた

『棄てゝ置いては吾々の將來の爲に何かと邪魔されると思ふが』

その中の一人が言つた

『と申した所で、今のところ淺野一人だけでも殺つてしまふ人も仲間には見當らないのだし』

この皮肉な言葉は少からず御木本の感情を害したが流石に昨夜まざ／＼と自分の未熟さを部下に發表してしまつてある以上、それに對して何とも言ふことが出來なかつた、下手に出て又大變な役でも負はせられたらそれこれ大變だと思つて只管沈默してゐた

『どうかして欺し討ちにでもしてしまはうか』

『卑怯だ、それだけは卑怯だ』

御木本はそれを得意で言つた

この武士らしい立派な言葉を發したら、少しは自分が偉く見えるのだかも知れぬと思つてから答へた御木本は、反對に皆から一層嘲けられなければならなかつた

その中の一人が

『先づ吾々の仲間で淺野に敵する者としては御木本氏位だらうが……』

といつた言葉は御木本を赤くさせるに充分だつた

『然し』

と御木本が何か話し出さうとした時に、慌たゞしい聲が玄關の方から聞えて來た

『何だ！』

御木本は何か話す所でなしに、もう中腰になつて下緒をかなぐり寄せてゐた

『留公が歸つて參りましたが』

一人の若侍が襖をあけてあはてゝ言つた

『何に！留公か早くこゝへ連れて來い』

言葉の下から、息を喘ませた留公が入つて來た

留公といふのは向島の御用聞上總屋藤七の乾兒だつた

神風組の手先を勤めてゐる藤七の乾兒が飛込んで來たとて、別に不思議は無いけれども、今夜の留公の慌て方は非常なものだつた。何か大きな聞き嚙りでもあつたに違ひないと御木本初め一同も直感した

『御木本つ旦那、ええこと聞いて來やした。聞いてお呉んなせえ』

留公は御木本の側へすり寄つて來て何事か話し出した

『ウム、それで彼奴が根本の邸へ入つた。ウム、それから……』

御木本は上手に聞き乍ら一々眉をひそめてゐた

『さういふわけなんです。そんな事のないうちに勝樣へでもお知らせして置かなければ』

『ウム、それは分つてゐるが……然し貴樣は何か考へ違へたのではないか』

『冗談言つちや不可ませんや、憚り乍ら栗鼠の留公そんなどぢなど踏みやしませんや、この二つの耳で確かに聞いた事なんだ。二十五日の晩に海岸の警備が手薄い折に、幕府の軍艦を』

『シツ！もう默れ、留公もう判つてゐる、退つてゐろ！』

言はれた留公は自分の手柄話を人に奪はれてしまつた形で、詰らなさうに横を向いてしまつた

『さて御一同、實はかういふ譯なんだ。二十五日の會議の晩、品川沖から幕府の船を盜み出さうと言ふ相談が先刻から榎本と淺野との間に始められてゐるのだ』

毛布とカバン
●秋向逸品の
ポプリンワイシヤツ！
◎優秀な手編毛糸流行色が入りました◎
㊣中野洋品店
（平二・電五三番）

外科 全般
內科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

滋養…消化…強精…の三大効果を營む
榮養保健專賣特許
米の母
藥價低廉
一日一匙一家健全……
ヴイタミンB欠乏は『貧血症』『食慾減退』『脚氣』『結腸炎』『便秘』『糖尿病』『硬腦膜症』『胃弱』『胃腸病』『神經系統』『姙娠及哺乳ニ依ル衰弱』『結核病』『肺炎』等多種の病因の多くを誘因することが諸博士の學說に依つて明かにさる
東京帝國大學教授醫學博士二木謙三先生他二十有餘名の諸大家先生方の御推奨
60瓦…¥.50
120瓦…¥.90
300瓦…¥2.00
600瓦…¥3.60
御一家の榮養保健は
常に御主婦方のお心がけから！
製造發賣元 片倉營養化學研究所
福島縣平町田町 松月堂向ひ
販賣店
醫療藥品
工業藥品
衛生材料
有名賣藥
阿部藥舖

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先（マツサキ）ニ（松崎（マツサキ）ニ）
三九二（ミクニ）タクシーヘ
（デンワ、ミクニ）

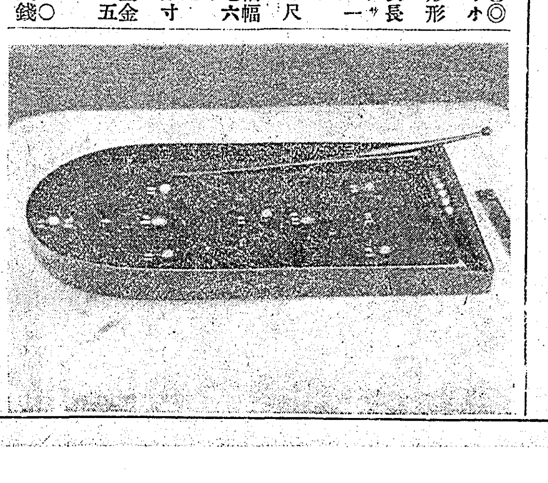
恐ろしい疫痢の流行期!!
○毎年六月始めより十月と申します。
○死亡率統計百人中六十五人以上として居ります。
まづ豫防に經口免疫の
北里研究所製造疫痢內服ワクチンを
○價格 幼兒一人分 三十錢
大人一人分 五十錢
（文献進呈）
特約店 西村屋藥局
平 二・電 3

生徒募集
奥樣方の爲め持に隨意科が設られてあります。
毎日定期に通學の出來ない方々の爲の回數券制度……
磐城女子洋裁專門學院
入學毎月初日
（此の際入學者は隨時入學を許可す）
ミシン無料貸與（材料貸與の方法あり）
平町白銀町五十番地
（詳細…學則郵劵二錢）

クレオンテーブルゲーム

◎特大形	長サ二尺五寸	幅一尺二寸	金四圓
◎大形	長サ二尺	幅一尺	金二圓五〇錢
◎中形	長サ一尺五寸	幅七寸五分	金一圓五〇錢
◎小形	長サ一尺	幅六寸	金五〇錢

東北製作販賣元
佐藤玩具製作所
平町十五丁目三〇 電話三八一番



貸切ノ御用命ハ
ゼヒ三井自動車部ヘ
電話六八五番
乘合は好間…合戶…澤渡方面行

平町田町
高久病院
（電話五三二番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹喬
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

洋食道具一式
格安御讓致し度し
御希望の方鳥菊方に御來談下さい。
南町
鳥菊
電話二八六番

內臟外科一般
外科花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

減は舊盆の一時的現象
再び增送の正常に復歸す
依然朗かな盆後の地方炭況

今春來例外無しに增加の一途を躍進し來つた常磐炭山元發送元は今月一日以降十日迄に於て前年同期より若干の減少を示したが右は舊盆三日（昨年は八月）中の休業關係に因るもので舊盆後に入つては引續き增加の正常に復歸するものと豫想されたが去る十一日以降二十日迄の數量は

營業用三、七三六車　四七、四八七噸　省用一、三〇四車　一九、四〇八噸
合計五、〇四〇車　六六、八九五噸

で果せるかな前年同期分を突破する事

營業用一一六車　三、九三七噸　省用二〇五車　三、四六七噸　合計三二一車　七、四〇四噸

で豫想通り朗かな炭況に還元した、因に今月は舊盆中の激減關係で上中旬分通算をすると、尚は四、九三九噸の赤字となつてゐる

勇躍！磐中籠球部
晴の征途に上る
明日縣下中等校の爭覇

磐中籠球部では明廿三日福島高女で開かれる縣下中等學校明治神宮大會豫選權大會に出場するので過般來殘暑にも怯まず猛練習を續けて來たが愈々今廿二日午前五時四十二分大淵教諭引率の下に晴の征途に上つた、選手左の如く大會場に於ける飛躍を期待されて居る

（主將）榊原富夫（副）會川正四郎、涌井勝美、金澤利男、鈴木敏勝、四家忠義

未だ勸誘の餘地ある
平局管內の簡易保險
統計に徵して活動繼續

平局の簡易保險加入者一二、七九二口は人口二四、九九九人に對し五割一分一厘に當り他市に比し尚募集の餘地あるので來月上旬から高久村始め山間部落に亘つて簡易保險普及の映畫會を開く外漸次全般に亙つて大募集をなすと、因に各市との比較左の如し

	加入件數	人口千人比
平町	一二、七九二	五一一
郡山	二六、八〇五	五五〇
若松	二六、五六四	六〇七
福島	二九、八六四	六五四

法曹野球應援團
平組意氣込む

福島地方裁判所管內第二回法曹團野球大會は來月八日（又は十五日）午前八時より郡山市麓山公園に於て開催されるので平法曹團では既報の如きチームを編成退勤後直に平第一校、或は平商のグラウンドで猛練習中であるが當日は同所村上登記主任が主となり有志辯護士其他卅四名より成る應援團を組織し大いに意氣を皷舞する外他チームよりの應援團も大擧おし掛けるので盛會を豫想されて居る

見よや神技の此の腕
平局野球軍あす郡山へ
應援歌高らかに

縣下四郵便局對抗軟式野球大會は愈々明廿三日午前八時半から第一（郡山開成山神宮）第二安積中學兩球場に於て擧行されるが優勝候補と目される平局は最近の大會に郡下の粒入りチームを屠つた餘勢物凄く該大會にも必勝を期し電信係土田華岳氏作詞になる別項應援歌に氣勢を添へ猛練習中であつたが戸石局長以下一行は愈々明廿三日午前五時局前に集合數臺の自動車に分乘應援旗を翳し乍ら勇ましく出發すると

應援歌

一、九天醒むる　曉の鐘
開けよ若人　血の叫び
起てよ使命に　死を賭けて
（繰返し）勝鬨高く　勝鬨高く擧げん哉

二、守れ正義の　大旆を
いざや進めん　堂々と
見よや神技の　この腕

三、歩武に忘るな　重責を
振へ雄々しく　意氣高く
抱け久遠の　月桂

師團長宮
廿五日早曉御通過

東久邇第二師團長宮殿下には東京から御歸仙の御途次來る二十五日午前三時二十分の準急にて平驛を御通過遊ばさるゝと

磐中選手　出發
水の覇王目指して

プール開きを兼ねた水高主催近縣中等學校水上競技大會は愈々明後廿四日午前九時より水高プールに於て開催されるので磐中七選手は當日午前五時半發で中柴、谷澤兩教諭引率の下に晴の征途につくと

磐中　特別教授　方針變更
週末每模擬試驗を行ひ
進學者の萬全を期す

磐中では上級學校進學者の爲午前六時より始業前二時間特別教授を行ふ筈であつたがこれは遠隔者の爲時間の都合あり結局來月一日より放課後行ふ事に變更した尚同校では從來あまり行はなかつた模擬試驗を今年度からは週末一度宛に行ひ萬全を期す事になつたと

磐中競泳會

磐中校內水泳大會は來る廿日午前九時より同校プールに於て開催されるが種目左の如く、尚同校では近く體育大會を開く爲その選手大會として各學年毎に對抗競技を行ふと

（自由型）五十、百、二百、四百米（平泳）五十、百、二百米（背泳）五十、百、二百リレ

。。。第三競技練習。。。　第三區兒童競技會は既報の如く來月一日午前九時から磐中校庭に於て擧行されるので第三校では五年以上各種目の選手を決定目下每放課後猛練習をなしてゐる

。。。鹿島競技大會。。。　青年團で明廿三日午前九時から小學校で開く

第二小學　五訓導共同畫展
故四家訓導の一週忌に
明日からマルトモで開催

平第二校海野、橋本、渡邊草野、根本の五訓導は夭逝した元同校訓導四家安男氏の一週忌を迎へるに當り昨報の如く明廿三日より二日間マルトモホールに於て共同畫展を催すが出陳點數は一訓導十點宛計五十點で其他四家訓導の遺作靜物（横二尺七寸縦二尺）を特別出陳する事になつて居る

第三出品畫
福島記念展へ
十名十點を選擇

來月十七日の本縣師範學校創立六十週年記念縣下小學圖畫展覽會に平第三小學校では長谷川訓導指導の下に左記十名十點の優秀作を選び出品することになつた

靜物（六年）諸橋富彌、街道風景―荒四郎、きじ―鈴木みつ、校舍增築（五年）松崎惣兵衛　鐵工場內―志賀啓佑、牛小屋―白土のぶ子、金魚鉢（四年）井上明、お人形―永島佳子、私の家（三年）豎川行治、おにゆり―佐藤一

平三小學校　圖畫研究會

平町三小學校職員有志よりなる圖畫研究會では現在十六名の會員が新しい初等教育圖畫振興について研究中であるが近くマルトモホールに評論會を開催する

四倉繭市況
昨日出廻り百貫

四倉繭市場昨二十一日の相場は

出荷一〇〇貫、最高四、三三錢、最低四、一〇錢
買馴四、二〇錢

で晩秋繭が弗々出廻り始め相場も氣色ばんで來た

第一小學　遠足運動

平第一校では來る廿六日左の如く遠足運動を行ふと（一年）內郷村權現山（二年）同村一の矢（三年）平窪村二本松（四年）同大字山（五年）豐間村沼の內（六年）大浦村最勝院（高等科）赤井村水石山

山田の傷害致死
愈々豫審終結決定
平支部の公判に附さる

葬儀の歸途日頃犬猿の間柄なる山田村大字宮澤高木金兵衛（三五）を棍棒で毆打終に死亡せしめた同村大平武（三）にかゝる傷害致死事件は荒井豫審判事が審理中昨廿一日豫審終結準備公判は廿九日平支部で中島裁判長係門傳辯護人列席開廷

商工研究會

平商校卒業生の爲設けられた第九回平商工研究會は來月七日午後七時より平庶民金庫樓上に於て開催、職業上の體驗、商業經營及工業智識の座談をなすと

。。。鎌田熊野神社。。。祭典　來る廿六、七日執行、餘興として日活活動寫眞

入浴を拒まれて
內郷村民の狼狽
磐炭へ適當の緩和策要求

約四千の職員從業員を有する磐城炭鑛では濱井場、高坂、町田各方部に無料浴場を設け全山從業員の衛生保健に資して居るが取締りが比較的寛大であつた爲從業員以外の村居住者が隨意に入浴して統制上往々不都合を醸す場合が少くなかつたので過般協議の結果來月一日から一般從業員には家族證を發行し番人を置いて炭鑛關係者以外の入浴は絕對禁止することに決定したので今迄之が爲多大の便利を得て居つた村民は非常な困惑を來し廿日宮住吉神社に有志會合を催し對策を協議の結果、入浴の恩典を奪はるゝかはり村使用の水道施設を要求することになり、代表十名は同日午後鑛業所を訪問菅原所長、濱崎事務部長共に不在の爲に田寺鑛務課長と會見種々懇談する處あつたが結局本社に出張中なる所長の歸山を待つて何分の決定を見る模様である

明二十三日祭日
明後廿四日日曜
休刊御諒承をた
願ひます

妾を囮に前借詐欺
闘々しい男直ぐ捕はる

去る十四日中年增美人を伴れた四十男が平町鍛冶町藝妓置屋玉川事國府田直良氏方を訪れ女の抱え入れ方を申し入れ三百圓を受取つて住み込ませたが二三日にして伴れ出したお目見得詐欺あり訴出に依り平署で嚴探中昨二十一日浪江署に擧動不審で檢擧された南會津郡檜原村大內農佐藤戸右エ門（三八）が遊蕩の末蓄財を蕩盡し目下生計にも困る處から妾阿部かねよ（三六）に意を含め前記の芝居をうつたものと判明目下身柄の引渡しを受け平署で菊地警部補が男女を取調中である

カフエー戰線異狀
亂れ咲く歡樂の毒花に
猛烈な玉ぬきの暗躍

唐黍燒きの婆さんが立つた夜更けの銀行角に、散らばつた古新聞の反古がカサコソと深みゆく秋を呟いても赤い灯に。チャヅに。春のやうな男女の爆笑に。桃色に刷かれた歡樂の夜は中々眠らうともしない

×

複式寢臺を置いたりする──そこ迄にはまさか徹底振りを見せてはゐないが女給のサーヴィスは今は漸く理論から實際化しつつ、溫良謙讓にして而も聰明な彼女は姑らく論外として中には性の解放なんて物凄いイデオロギーに內氣な中堅青年（?）なんかを頸に捲いてるのなんかもあるんだ

×

斷然石城のメトロポリスわがタヒラ町のカフエーは現在合計三十×軒。その內の何軒かは極く最近の開店で如何に長足の伸び方をしてゐるか、僞らざる數字が奏する愉快なカフエー行進曲は若い人達をして桃色の宵から宵へと輕いステップを踏ませずには置かない

×

カフエー陣營の前哨は女給群像の散兵だ、而も田の草取りをした樣な節の高い爪の處が黄色い澁で染まつたやうな手で奉仕されたんでは寧ろこつちが顏負けだ三杯が二盃に、二盃が一盃に酒の賣れ行きが減少の一途を辿ると云ふ事にもならう、茲に於てか猛烈な玉ぬきの接戰が展開されると云ふもの

×

根が男を飛び石の樣に甲から乙へと移轉して何事にまれ變化を好む一部の彼女らである、一度ヤニつこい誘惑に遇つて少しでも條件が良さそうだと全財産の風呂敷包み一つを抱えて『永々お世話樣になりました』と許り變つた新らしい天地に飛出して行く

×

斯くしてコンヂッションの良い處、良い處と選んで爛れた樣な性の放浪生活を續ける。『女給さん入用』の札は颯爽たる金風の裡に今日も翩飜と躍つてゐるではないか！

紅燈に憧れ
農家の娘家出

泉村下瀧尻農吉松長女安島みどり（一九）は去月二十三日夜家出したが平町で女給をして居るのを聞込み今二十二日實兄から平署に搜索方を願ひ出た

。。。曾我校長慰勞宴。。。　平第一校職員及元職員は今廿二日午後五時より公園ときわ亭に於て曾我校長の慰勞會を催した

。。。唱歌研究教授。。。　平第三校唱歌科研究教授は尋常科二の三組について今廿二日二時間目より行ひ同午後三時から批評會を開催する

窃盜犯控訴
懲役五年が不服で

內郷村大字綴字堀坂油行商人伊藤粂三郎（四五）が去る一日午後七時半頃湯本町字三函安住正積方より銘仙一反其他好間村古河炭鑛共同浴場脫衣場より金側腕時計一個（價格廿五圓）を窃取、去る十八日平區香西判事より懲役五年を言渡されたが今廿二日不服で控訴した

。。。磐炭親交會選擧。。。　磐城炭鑛社宅親交會では廿五日幹事一區二名、二區一名、三四五區二名の選擧を行ふ

犯人は自白したが
物的證據が上らね
怪奇な四家（豐間）の殺人公判

犯人が犯行を自白し一方物的證據一つもなく且唯一の證據と目された酌婦三名が相抱いて投身自殺したなど波瀾を極めた宮城縣石巻町住吉新地料理店角蛯女將千葉さつき（五二）殺しの豐間村生れ四家正雄（三六）の公判は廿六日仙台地方裁判所で開廷される

共濟委員會

郡共濟委員評議員會は來月一日午前十時から磐炭淺野記念會館で開き事務打合せ後內郷村に於ける貧困者の生活狀態を調査する

コソ泥一年

當時住所不定無職山形縣南村山郡生れ長沼富治（三四）が去る三月廿八日より四月三日迄內郷村大字內町渡邊勇藏方外八ケ所に於て前後十二回現金其他（價格四圓二十錢）を窃取した事件の公判は今廿二日午前十一時より平區に於て中島裁判長係り清田檢事立會で開廷、求刑六ケ月に對し懲役一年を言渡された

記帳を怠る
古物商へお灸二件

平町字三丁目古物商猪狩チヨ（四〇）は去月七日一丁目柏原四郎より古日本刀二振りを十八圓で買受け所定の帳簿に記載せず關口判事より罰金五十圓。又好間村大字下好間字叶田一四〇濱松庸備（二五）も去月二日古鐵屑五貫目を買受け同上罰金五圓

。。。青訓教練指導。。。　福島聯隊區司令部藤井中佐は廿四日赤井青訓生の教練を指導する

曾我氏揮毫

曾我直治氏は平第一校永年の懸案であつた劍道部が新設されたので斯道奬勵の爲道場に揭出記念する『尚武』の二字を揮毫した

。。。青沼町長出仙。。。　今廿五日朝多門師團長歡送會に出席の爲め出仙した

。。。平土木委員會。。。　二十五日午後一時から議事堂に開き町有地貸賣並に寄附を協議する

。。。玉川男女青年總會。。。　玉川村青年團處女會聯合總會は二十三日午前九時から小學校に於て開催豫定事業其の他について協議する

第三區第一方部研究會　來る廿五日內郷第二校に於て開催

。。鼠賊。。　湯本町三函屆吉田公文（二九）は昨廿一日夜同町野崎金作氏方から現金廿九圓を窃取平署員に取押へられ餘罪見込で目下取調中

。。賭博。。　內郷村綴町田六五無職青木元壽（四三）方で昨廿一日午後九時頃同人始め高坂後藤長之助（四五）濱井場同加々美齋三（三六）金坂同佐々木豐吉（三二）綴荒木キヨ（四六）宮澤吉川幸太郎（四五）六名が賭博開帳中平署員に踏込まれ一網打盡に檢擧された

。。チフ。。　內郷村宮宗像キヨ（七）は昨廿一日チフテリアと決定した

平町慶弔錄

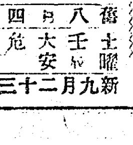
△出生

舊城跡一鈴木蒼得氏三男一郎君
田町四五安達郡白岩村白岩三五九大河原孝定丸氏長女とし子さん
舊城跡二四七青森縣北津輕郡七和村持十澤笠野前二四七今惣吉氏長女英子さん
北白銀町四二茨城縣久じ郡大子町淺川一六九〇笠井爲造氏二男義夫君

▲死亡

舊城跡一鈴木一郎（一）君

舊八月四日
土曜
壬午
大安
危
氐宿
新九月二十三日



諸判定應需
東京市本鄕區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神館

▲一白の人　思はぬ方面より板ばさみとなりて迷惑を生ず▲二黑の人　自由を欠き散財失策を招き困苦と戰ふ凶日▲三碧の人　初志のくわん徹に努め持久戰の覺悟を要する日▲四綠の人　重荷は益微力に堪え難く疲弊が增す不安日▲五黃の人　物事充分ならず有力なる援助者を失ふべし▲六白の人　計畫を樹て粗ろうなく奮勵すれば終に功あり▲七赤の人　願望意の如く行はるゝも得意に過ぐれば凶▲八白の人　無造作に事を企つれば泥沼に足を入る如し▲九紫の人　運氣良好にて多少の無理も通らんとする日

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京二〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

毛糸
今年度新色全部入荷致しました
相變らず御引立の程を
（色見本御進呈）
合名會社　ハシモトヤ糸店
平町田町　電話十四番